



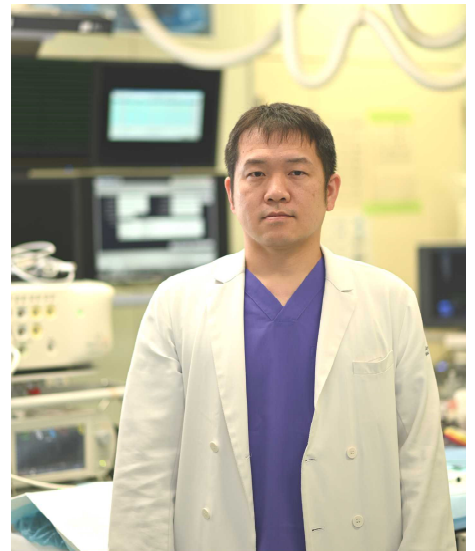
《循環器疾患の病診連携》

循環器内科医長 徳久 英樹

カテーテルアブレーション

今や不整脈治療の代名詞ともなったカテーテルアブレーションですが、当院では2019年度より導入しております。2021年度からは心房細動のアブレーションも開始しましたが、開業医の先生方から多くのご紹介を頂き、2023年度は年間100件ペースまで症例数が増えています。2024年度からは不整脈心電学会の研修施設に認定いただけるよう申請しております。

心房細動は、冠動脈疾患、心不全とならんで頻度の高い循環器病で、開業医の先生方の元にも多くの患者さまがおられると思います。当院にご紹介いただけましたら、しっかりとした病診連携体制を組ませていただきます。術後のフォローについても7日間の長時間ホルター心電図で再発の有無を確認するなど確実なフォローをさせていただきますので、是非ともよろしくお願ひします。



左脚領域ペーシング

最近心臓ペースメーカーについての大きな進歩がありました。右心室リードを心室中隔の深いところまでねじ込み左脚付近をペーシングすることで、非常にQRS幅の狭い、生理的な心電図波形を得ることができます。

従来のペースメーカー植え込み手術では、非生理的なペーシングが原因で、だんだん心機能が悪くなっていく方がおられました。当院の左脚領域ペーシングであればその危険性を無くすことが期待されます。

県内ではまだ数施設のみで行っている先進的な技術ですが、今後はスタンダードな手法となると考えています。

また、当院では術後遠隔モニタリングを基本としています。当院への通院は年1回のペースメーカー専門外来のみで、患者さまより好評を得ています。

麻酔科との協力体制

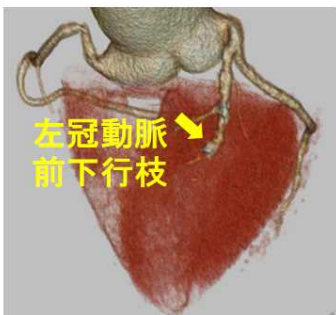
当院では麻酔科の協力の下、不整脈手術の一部を全身麻酔で行っています。一般的には循環器内科単独で局所麻酔で行うことが多い手術ですが、麻酔科医が入ることにより、患者さまの苦痛は確実に軽減されます。また、循環器内科医は手技に集中できるため、スムーズで安全な手術が実現できています。診療科の垣根の低い当院だからこそできる強みだと自負しております。



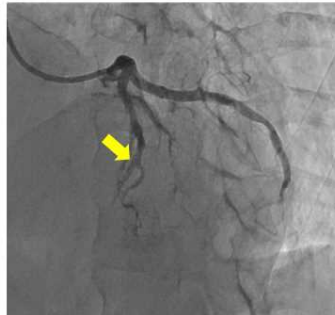
金沢市立病院 循環器疾患病診連携 ～循環型医療連携を極める～

糖尿病・高血圧症の方には、一度、**冠動脈CT**をおすすめします。

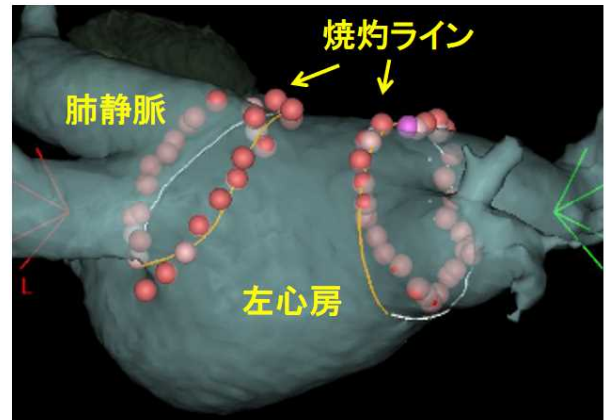
**心房細動の
カテーテルアブレーション**を開始しました。
(2022年1月～)



冠動脈CT



冠動脈造影



希望日(平日15時～)に検査が可能です。

症状・予後改善が期待されます。

地域医療連携室から検査予約がとれます。

持続性でも、3年以下なら検討に値します。

循環器内科受診でも可

高齢でも自力歩行程度のADLが保たれていれば可

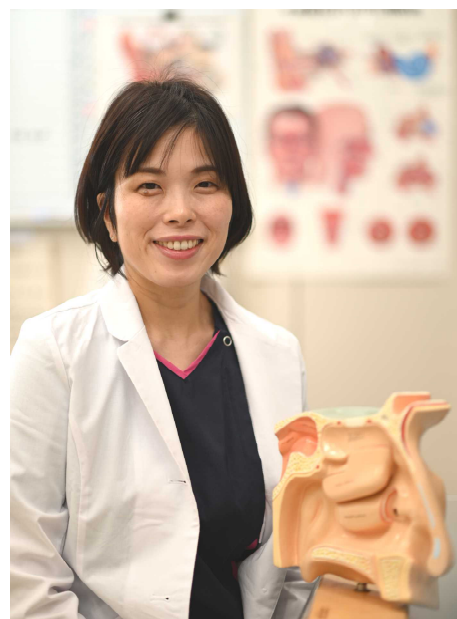
【予約・問合せ】金沢市立病院 地域連携室
電話:076-245-2626(直通)FAX:076-245-2693(直通)



《第12回 ホスピタルギャラリー》

耳鼻咽喉科長 中西 清香

11月3日（金）から5日（土）にかけて、当院1階待合ホールと外来通路のスペースを使い、「第12回ホスピタルギャラリー」を開催しました。COVID-19が2類の間のオンライン開催や昨年度のまだ厳重な雰囲気での再開を経て、5類に移行してからはじめての開催となりました。今年は作品の募集を、とくに患者さん、地域住民の方々、医療・介護職員の方々に重点的に呼びかけたところ、157点の作品を応募いただきました。この場をかりて感謝申し上げます。当日はお天気にも恵まれ、季節外れの暑さを感じる位の三連休でした。おかげさまで562名の方々に来場していただくことができました。ホスピタリティアート・プロジェクトの“病院をやすらぎの空間に“というテーマのもと、絵画、書、陶芸、生け花、写真、立体作品などさまざまなジャンルの作品を楽しんでいただけたと思います。実は、



展示の仕方にも工夫があるのをご存じでしょうか。皆様からの応募作品は有名無名問わず、全体の作品の大きさ、雰囲気、種類などをみながら展示方法が監修されています。より作品自体を味わうことが重視されているのではないのでしょうか。また、このプロジェクトも回を重ね、ありがたいことに常連の出品者の方も多くいらっしゃいます。「今年はどんな作品かな？」と期待して観覧するのも楽しみのひとつです。

同じくホスピタリティアート・プロジェクトの一つ、第13回光の回廊シリーズは、「たからさがし」と題して、金沢美術工芸大学の学生さん達により、令和5年8月30日（水）から9月21日（木）まで市立病院1階待合ホールに面した大ガラスに装飾が施されました。この期間は病院の待合にカラフルな色があふれ、光が差す空間に癒されるひとときが訪れました。



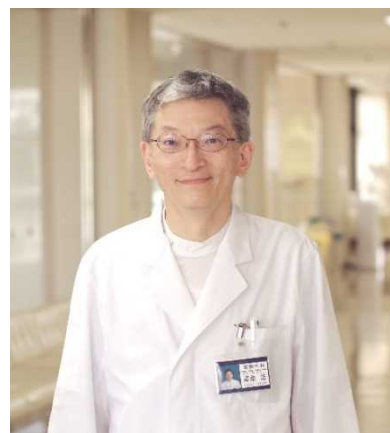
来年度もホスピタリティアート・プロジェクトをよろしく願います。



《令和5年金沢市立病院登録医総会の報告》

地域連携室長 高桑 浩

令和5年11月13日（月）午後7時より、金沢ニューグランドホテル金扇にて、金沢市立病院登録医総会を開催致しました。当日は、登録医30名、当院職員30名が参加して、行われました。高田重男病院事業管理者の開会挨拶の後、地域連携室谷口看護師長より、地域連携室年次報告を行いました。今年3月末での登録医は181名で、令和4年度の紹介率、逆紹介率はそれぞれ62.8%、80.9%でした。また、高度検査機器共同利用での放射線科紹介はコロナ禍で減少しています。検査枠には余裕がありますので、ご利用をお願い致します。



当院は、令和5年4月より地域医療支援病院に承認されました。これからも地域の医療機関と協力し、地域で完結する医療を提供いたします。これに伴い、今年10月より紹介状なしで受診される初診患者さんには、選定療養費7,700円がかかりますので、登録医の先生方に通院中の患者さんが当院へ受診をされる際には、診療情報提供書をお願いいたします。また、コロナ感染拡大後は、解放病床の利用を控えていましたが、受け入れを再開していますので、ぜひご利用ください。

講演1では、当院放射線科長 小坂康夫医師より、「着任のごあいさつ」との演題で発表していただきました。ご紹介いただいた症例および肝臓の線維化、脂肪化を定量化できる新しい腹部エコー検査導入予定について、講演していただきました。

講演2では、半田内科医院院長 鍛冶恭介先生より「金沢市すこやか検診のあゆみ～胃がん検診を中心に～」との演題で発表していただきました。金沢市の胃がん検診では精度管理に力を入れており、3次読影まで実施していること、また、ガイドラインに先立ち2008年度に内視鏡検診を導入したことが紹介されました。また、胃粘膜萎縮度別の発がん率の成績は、Am J Gastroenterolに報告されています。

総会の後、4年ぶりに、懇親会を開催し、意見交換を行うことができました。これまでの日常を取り戻しつつあることをうれしく思います。

これからも、登録医の先生方と連携し、地域で完結する医療をめざしますので、今後ともよろしく願いいたします。



金沢市立病院 地域連携室 〒921-8105 金沢市平和町3丁目7番3号
TEL : 076-245-2626 FAX : 076-245-2693 <https://kanazawa-municipal-hosp.com/>